

平成30年度京都市中丹地域戦略会議開催結果（概要版）

1 日 時 平成30年8月1日（水） 15時00分～17時00分

2 場 所 北部産業創造センター 2階「多目的スペース」

3 出席者

【委員】出席8名（欠席4名）

【オブザーバ】各市企画担当課長

【中丹振興局】野村局長、小林副局長、福井企画総務部長、常盤健康福祉部長、嵯峨根農林商工部長、木村建設部長、山口港湾局港湾企画課長、諏訪中丹教育局長 他

4 主な意見等

《防災対策》

- ・ハザードマップの更なる周知とその活用など、地域住民の適切な避難行動を促すきめ細かな情報伝達方法の工夫や警戒体制づくりが必要。
- ・山に関する情報（所有者、水の流れ等）を公開し、森林整備が進むよう行政と所有者が連携して取り組んでいく必要がある。
- ・内水対策も含めた総合的な対策が必要。

《原子力政策・原子力防災対策》

- ・専門家を交えて事故後のシミュレーションをするなどして解決策を考えるべき。
- ・住民も含めて危機意識を持つ必要がある。

《観光誘客等》

- ・欧米系の旅行者（特に富裕層）へのアピールが必要。
- ・クルーズ客船の乗客に地域内を周遊してもらえるように、名所をめぐるバス運行など一歩踏み込んだ施策が必要。
- ・タクシーによる定額観光を実施したいので支援を。
- ・農家民宿がビジネスとして継続するよう、ハンズオン支援が必要。

《移住定住》

- ・都市部のひとり親への支援をアピールするなど、ターゲットを絞って差別化したらどうか。
- ・若者が一度ふるさとを離れても、30～40歳になって帰ってきたいと思える地域にしていきたい。
- ・子どもが市街地に住み、両親が近郊に住むケースが多いので、両親と同居しない理由を調査したらどうか。